

第4回自然体験活動指導者養成研修会

実 習

「救命救急法」

彦根市消防署

救急救命士 上林 治 氏 ほか 3名

日時:平成21年11月1日(日)

9時30分～16時30分

場所:荒神山少年自然の家

・DVD視聴

一人ひとりが、救命のリレー(「119番通報」・「応急手当」・「高度な救急処置」・「高度な救命医療」をつなげて命を助ける)の第1走者としてスタートに立っていただきたい、というお話をお聞きし、実習へと移りました。

・心肺蘇生法実習

・AED実習



講 義

「安全管理」

びわこ成蹊スポーツ大学

教 授 中野 友博 氏

- ・自然体験活動における安全教育と危機管理
- ・安全管理と危機意識
- ・リスクマネジメント
- ・KYT (危険予知トレーニング)
- ・RME (リスクマネージメント・エクササイズ)

野外教育と自然体験活動の概念および意味について、説明いただきました。「本物の体験」「わくわくドキドキの体験」には、安全管理の徹底が必要。

「何を学習させるのか」というコンセプトと「ふりかえり」まで含めたプログラミングが必要。

リスクマネジメントとして、「安全対策・管理」から「安全教育」へ 考え方をシフトし、危険予知や危険回避、応急処置等の研修が大事であることを学びました。

その後、二人一組で、自然体験活動のイラストシートを見て、KYT (危険予知トレーニング)、RME (リスクマネージメント・エクササイズ) の演習を行いました。

